

日興レジェンド・イーグル・ファンド

(資産成長コース) / (円ヘッジコース) / (毎月決算コース)

追加型投信／内外／株式

販売用資料
臨時レポート

2026年5月

Amundi
Investment Solutions

4年連続受賞!

※投資信託10年／外国株式バリュー部門で4年連続受賞
(2023年：最優秀ファンド賞、2024、2025、2026年：優秀ファンド賞)



R&Iファンド大賞2026 優秀ファンド賞

「投資信託10年／外国株式バリュー」部門
「投資信託／外国株式バリュー」部門

日興レジェンド・イーグル・ファンド (資産成長コース)

日興レジェンド・イーグル・ファンド (毎月決算コース)

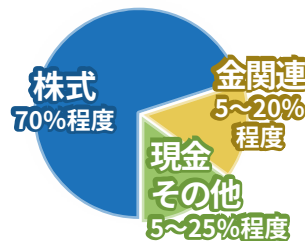
毎月決算コースは、NISAの対象ではありません。

堅実なパフォーマンスが評価され、おかげ様で4年連続の受賞

資産を「守りながら育てる」ために、株式に金関連資産と現金を併せ持ち

- 日興レジェンド・イーグル・ファンドの運用戦略は、「大きな損をしないこと」を哲学とし、長期で着実な資産成長を目指すために、「株式」に、「金関連資産」と「現金等」を併せ持ちます。
- 株式は成長資産、金関連資産は市場の混乱時に下落を抑えるヘッジ、現金等は突然の投資機会を逃さないための備えです。
- ファンドは長期で堅実なパフォーマンスを実現しており、今回の4年連続の受賞へとつながったといえます。

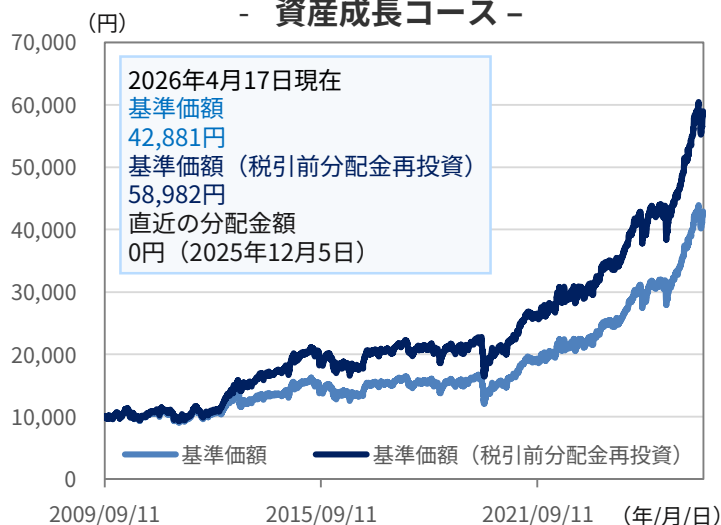
(イメージ図)



上図は例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。

【基準価額の推移】

- 資産成長コース -



- 毎月決算コース -



期間：2009年9月11日（ファンド設定日）～2026年4月17日、日次

※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。分配金は1万口当たり、税引前。分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

R&Iファンド大賞2026については、最終ページをご覧ください。

資金動向、市況動向の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

堅調なパフォーマンスの源泉は、銘柄選択の視点に

過去も、今も、これからも。高クオリティ企業に割安なタイミングで投資

- 組入上位10銘柄を過去と比較すると、2015年12月末はチャイナショックなどを背景とした景気不安から株価が下落したIT関連、金融、素材が中心だった一方、2025年12月末は、成長期待に対して未だ割安と判断したAI関連銘柄や強固なビジネスモデルを有するヘルスケアおよび生活必需品が中心となりました。
- 時流を追うのではなく、個別企業を調査・分析し、競争力のある企業に割安なタイミングで投資しポートフォリオを構築し続けています。



【組入上位10銘柄】

※比率は、マスター・ファンドの純資産総額に対する評価金額の割合です。

2015年12月末時点

	銘柄名	国名	組入比率
1	金ETF	米国	5.93%
2	マイクロソフト	米国	2.40%
3	オラクル	米国	2.18%
4	コムキャスト	米国	2.04%
5	KDDI	日本	1.68%
6	バンク・オブ・ニューヨーク・ Mellon	米国	1.51%
7	3M	米国	1.50%
8	オムニコム・グループ	米国	1.50%
9	損保ジャパン日本興亜ホールディングス	日本	1.43%
10	インテル	米国	1.41%

2025年12月末時点

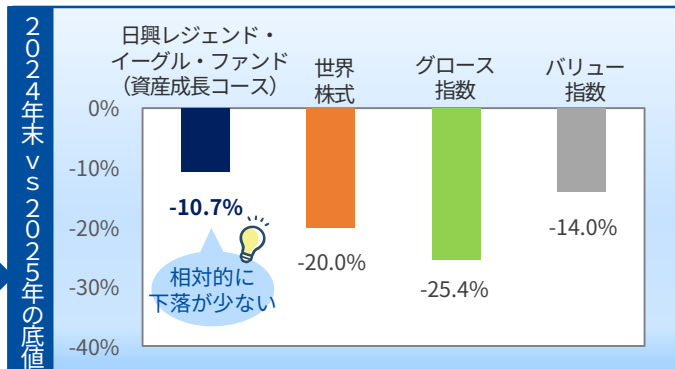
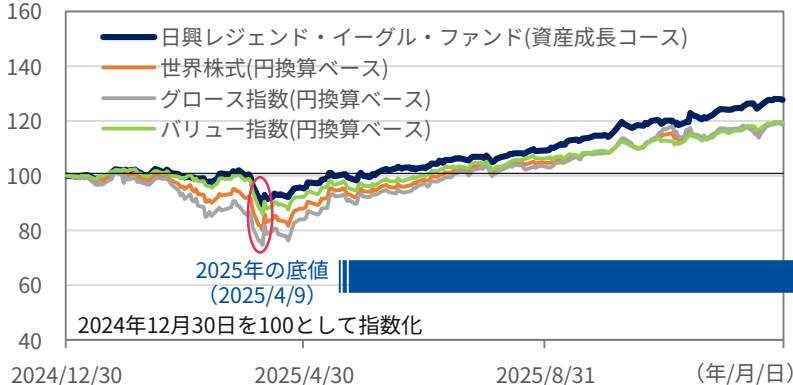
	銘柄名	国名	組入比率
1	金ETF	米国	9.88%
2	アルファベット	米国	2.90%
3	ベクトン・ディッキンソン	米国	2.19%
4	メタ・プラットフォームズ	米国	2.13%
5	HCAヘルスケア	米国	1.68%
6	オラクル	米国	1.66%
7	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	英国	1.60%
8	CHロビンソン・ワールドワイド	米国	1.48%
9	プロサス	オランダ	1.43%
10	エレバンス・ヘルス	米国	1.40%

不透明感に覆われた2025年は、当ファンドの強みが顕著に

- 2025年は、米国の関税政策の動向、金利動向や景気見通し、地政学リスクなど複数の要素を背景に、不透明感が払拭されない市場環境が続きました。
- 株式市場が軟調な2025年前半、当ファンドは、世界株式などよりも下落を抑え、年間でもアウトパフォームする結果となりました。大きな損をしないことの大切さがあらわれた年であったといえます。



【2025年のパフォーマンス比較（外貨建て資産は円換算）】



日興レジェンド・イーグル・ファンド（資産成長コース）は基準価額（税引前分配金再投資）より算出。
期間：（左グラフ）2024年12月30日～2025年12月30日、日次、（右グラフ）2024年12月30日から2025年4月9日の騰落率。
出所：アムンディ・ジャパン株式会社 使用した指数とその権利については最終ページをご覧ください。

資金動向、市況動向の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

投資銘柄と2025年度の投資行動のご紹介

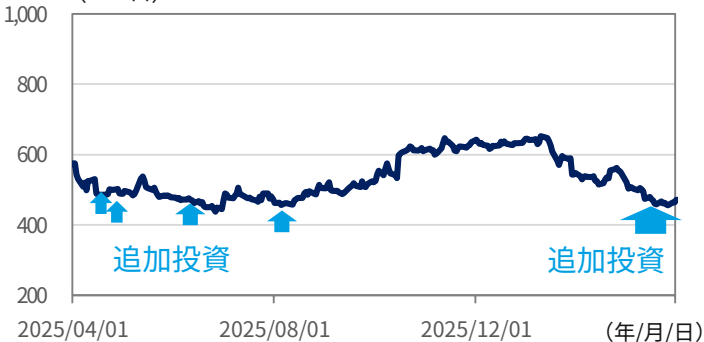
割安なタイミングで投資、企業本来の価値で売却という一貫した投資行動

- 運用チームは、長期で着実に資産をそだてるために質の高い銘柄が割安になったタイミングでのみ投資し、企業本来の価値に到達したと判断したら売却します。割安な局面で投資することで、着実な利益獲得と損失抑制の両立を目指すためです。
- 2026年3月の市場混乱も運用チームにとっては投資のチャンスでした。業種や銘柄ではなく、投資タイミングが「バリュー」なのです。



■ LVMH（モエヘネシー・ルイヴィトン）（フランス）

（ユーロ）



- 世界最大の高級品グループ企業として、ルイ・ヴィトンやディオール、ティファニーなどのトップブランドを擁し、強固な価格決定力を有しています。
- 米国や欧州を中心としたグローバルな収益基盤、地域ごとのビジネスモデル構築しています。

今後、世界で富裕層が増えたりブランド志向が高まると、持続的な成長や高い収益性の維持が期待できそうだね。



■ ウォルト・ディズニー・カンパニー（米国）

（ドル）



- ミッキーマウスや、スター・ウォーズなどのキャラクターの知的財産を有し、多方面で収益化できる点が大きな強みです。
- 高いブランド力により参入障壁が非常に高く、長期的な競争優位性を維持しています。

テーマパーク、ストーリーミング、テレビ、映画など様々な分野で高い知名度があるわね。



■ インペリアル・オイル（カナダ）

（カナダドル）



- エクソン・モービルの傘下で原油・天然ガスの探査・生産・精製・販売まで幅広いビジネスを手掛けており、安定した収益基盤を有しています。
- 低負債・高流動性の健全な財務体質を維持しています。

中東情勢混乱による原油価格高騰時に、株価が上昇して、企業本来の価値に近づいたから、一部売却したんだね。



出所：ファースト・イーグル・インベストメンツの情報を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。期間：2025年4月1日～2026年3月31日、日次
＊上記は、あくまでも理解を深めて頂くために例示したものであり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また将来のファンドへの実質的な組入を保証するものではありません。

資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

運用者からのメッセージ 長期投資に資するSleep Well Fund（よく眠れるファンド）として



ファーストイーグル
インベストメント マネジメント社
グローバル・バリュー・チーム
ヘッド 兼 ポートフォリオマネジャー
マシュー・マクレナン

平素は日興レジェンド・イーグル・ファンド（以下、当ファンド）をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。運用実績が評価され、4年にわたりR&Iファンド大賞を受賞できたことを運用者として大変光栄に感じております。

当ファンドの投資対象ファンドと同一の運用戦略の運用会社であるファーストイーグル インベストメント マネジメント社が運用する「グローバル・バリュー戦略」は、1979年の運用開始以来、**競争優位性の高い企業が割安な水準になった時のみ投資を行うことを一貫して実践してきました**。その結果、日本株バブル崩壊やITバブル崩壊などの下落局面においても**下落を抑制し、長期的に堅調なパフォーマンス**をあげています。

このような運用を行うに至った背景には、創業者一族であるアンホールド家が財産を次の世代のために管理し、守り、成長させることを目的としたファミリーオフィスを立ち上げたことにあります。

多くの運用会社が指数（ベンチマーク）を上回ることを目標にしている中、ファーストイーグル インベストメント マネジメント社は、**投資家の資産を長期的に維持することを使命**としています。

世界的な経済指標は依然として好不調が混在しており、イラン情勢が短期的に解決するか、あるいは緊張が緩和されれば、経済成長の勢いが再び強まる可能性があります。事態がさらに悪化する場合は、成長に対するリスクが高まる可能性があります。

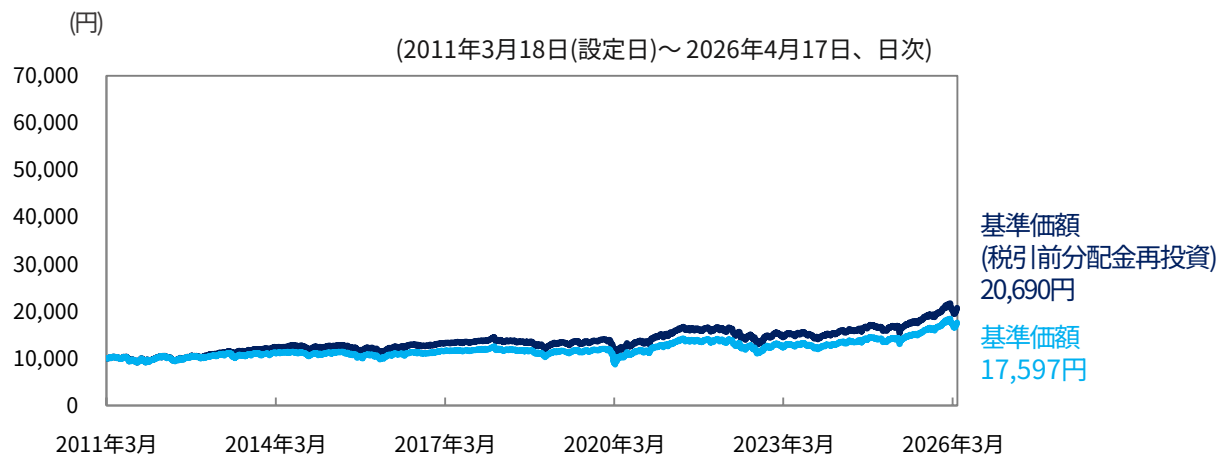
当戦略は、米国で「Sleep Well Fund（よく眠れるファンド）」と言われ、長期保有に適しているファンドとして定評があります。私たちは、**市場の乱高下の中でも堅調なパフォーマンスを維持しつつ、景気の上昇局面にも参加することが投資家の皆様の株式エクスポージャーの基盤となり得るために重要**であると考えています。日本のお客様にも、当ファンドを通じて市場環境に左右されない資産運用をお届けして参ります。今後とも当ファンドをご愛顧賜りますと幸いです。



【ご注意】 グローバル・バリュー戦略は当ファンドが主要投資対象とするファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド（以下、マスター・ファンド）と運用チーム、運用哲学は同一ですが、マスター・ファンドでは金現物に投資しないなど銘柄選抜過程の一部や費用が異なります。

資金動向、市況動向の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

ご参考：日興レジェンド・イーグル・ファンド（円ヘッジコース） 設定来の運用実績



基準価額は信託報酬控除後、一万口当たりの値です。
基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。

ファンドの目的

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて中長期的な投資信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。

ファンドの特色

- 1 米国有数の独立系運用会社ファースト イーグル インベストメント マネジメント社（以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ）が運用する「ファースト・イーグル・グローバル・バリュース・マスター・ファンド（以下、マスター・ファンド）」へ、主に投資します。
 - 主としてケイマン籍の外国投資信託「マスター・ファンド」の受益証券と国内籍の投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の受益証券に投資します。世界の株式等への実質的な投資は「マスター・ファンド」を通じて行います。
 - 「マスター・ファンド」の運用は、ファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリュース・チームが行います。また、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の運用はアムンディ・ジャパン株式会社が行います。
- 2 主に割安と判断される世界の株式等を実質的に投資し、ドルベース[※]で相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで投資信託財産の長期的な成長を目指します。
 - 世界各国（エマージング地域にも投資することがあります。）の株式を対象として、ボトムアップ方式により個別銘柄の調査を行い、PBR等の伝統的なバリュエーション分析のほか、フリーキャッシュフロー等、様々な分析を加え、財務内容を徹底的に分析します。
 - 分析の結果、十分に割安で魅力的であると判断した銘柄でポートフォリオを構築します。
 - ファンドは、特定の株価指数にとらわれない運用を行うため、ベンチマークを設定しておりません。
 - 「マスター・ファンド」において、ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、ドル以外の他通貨売り/ドル買いの為替取引（ドルベースでの為替ヘッジ）を行うことがあります。

※当資料では、「ドル」とは米ドルのことを指します。
- 3 「資産成長コース」、「円ヘッジコース」、「毎月決算コース」それぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。
 - スwitchングの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。

◆資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。◆

投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

＜お申込みの際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。＞

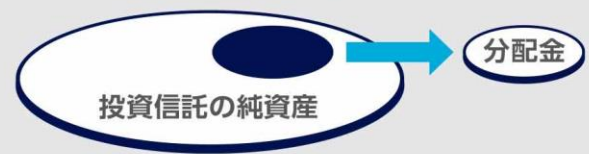
※当資料のお取扱いについてのご注意

■当資料は、法定目論見書の補足資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した販売用資料であり、法令等に基づく開示資料ではありません。■当ファンドの購入のお申込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、お受取りの上、内容は投資信託説明書（交付目論見書）で必ずご確認ください。なお、投資に関する最終決定は、ご自身でご判断ください。■当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。■当資料に記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。■投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。■投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属いたします。■投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。■投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

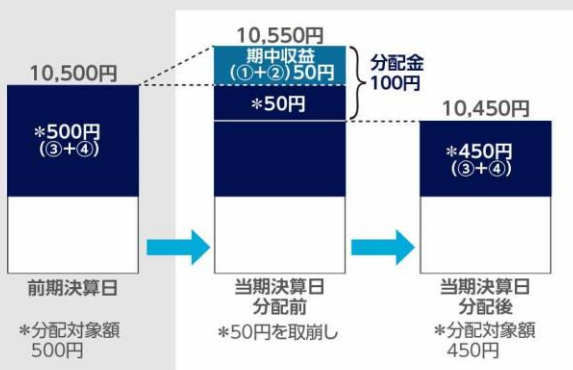
【投資信託で分配金が支払われるイメージ】



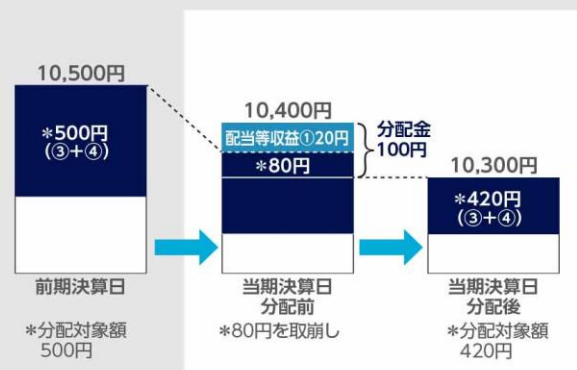
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

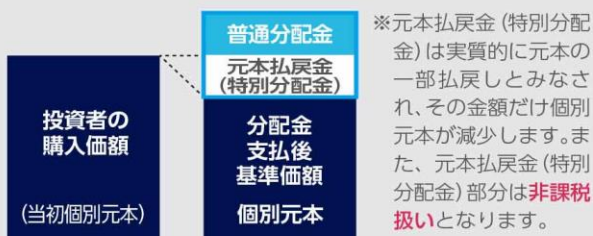


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

日興レジェンド・イーグル・ファンド（資産成長コース）／（円ヘッジコース）／（毎月決算コース）

お申込みメモ

	資産成長コース	円ヘッジコース	毎月決算コース
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。		
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。		
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して、6営業日目からお支払いします。		
購入・換金申込受付不可日	ニューヨークもしくはケイマンの銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休場日の場合はスイッチングを含め、受け付けません。		
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。		
換金制限	換金の申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、諸事情により金融商品市場等が閉鎖された場合等一定の場合に換金の制限がかかる場合があります。		
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品市場における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。		
信託期間	原則として、無期限とします。 (設定日:2009年9月11日)	原則として、無期限とします。 (設定日:2011年3月18日)	
決算日	年2回決算、原則毎年6月、12月の各5日*です。 *当該日が日本の休業日の場合は翌営業日とします。		年12回決算、原則毎月5日*です。
収益分配	原則として年2回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 「分配金再投資コース」は税引後無手数料で再投資されます。		原則として年12回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。資産成長コースおよび円ヘッジコースは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。毎月決算コースは、NISAの対象ではありません。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。		
スイッチング	資産成長コース、円ヘッジコースおよび毎月決算コースそれぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問合せください。		

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.3%(税抜3.0%) です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	各コースの純資産総額に対し 年率1.232%(税抜1.120%) をそれぞれ乗じて得た金額とします。 各コースが投資する投資信託証券の有価証券届出書作成日現在の運用報酬の上限額は、各投資信託証券の運用資産の純資産総額に対し、それぞれ年率0.8%および0.385%を乗じて得た金額となります。したがって、当該運用報酬を考慮した場合の 各コースの実質的な負担の上限は、年率2.032% (=1.232%+0.8%)となります。ただし、「ファースト・イーグル・グローバル・バリュースター・ファンド」の運用報酬の最低金額は25万ドルとなっているため、純資産総額によっては年率2.032%を上回ることがあります。実際の信託報酬の合計額は投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

委託会社、 その他の関係法人	委託会社：アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第350号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 受託会社：野村信託銀行株式会社 販売会社：販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する 照会先	アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン：050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス： https://www.amundi.co.jp/

販売会社一覧（業態別・五十音順）

金融商品取引業者等		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○		○	○
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○		○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○		
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第3号	○	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

【当資料で使用した指数について】

＜P2 2025年のパフォーマンス比較＞世界株式：MSCIワールド・インデックス、グロース指数：MSCIワールド・グロース・インデックス、バリュエ指数：MSCIワールド・バリュエ・インデックス。すべて米ドルベース、トータルリターン、1営業日前の数値を当日の為替を用いて円換算。いずれもファンドのベンチマークではありません。

- ▶ MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCI Inc.に帰属します。
- ▶ 当資料中に引用した各インデックス（指数）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。